

○ プロフィール

沼尻竜典 めまじり りゅうすけ（指揮）

びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年度より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、フランス放送フィル、ミラノ・ヴェルディ響、シドニー響、チャイナ・フィル等世界各国に客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、数々のオーケストラのポストを歴任。ドイツではリュベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、リュベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン、ミュンヘン、ベルリン、バーゼル、シドニー等の歌劇場へも客演。びわ湖ホールでは1998年の開館より、「青少年オペラ劇場（現・オペラへの招待）」、「プロデュースオペラ」、「沼尻竜典オペラセレクション」において数々のプロダクションを指揮、2017年より4年間かけてミヒャエル・ハンペの新演出による《びわ湖リング》を上演、空前の成功を収めた。2014年にはオペラ『竹取物語』を作曲・初演、国内外で再演されている。2017年紫綬褒章受章。

京都市交響楽団（管弦楽）

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2015年「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を祝う国内ツアーを開催。2020年4月からは新指揮者体制として、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任。新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

オフィシャルホームページ <https://www.kyoto-symphony.jp/>

中村敬一 なかむら けいいち（脚本・構成）

武蔵野音楽大学、同大学院で声楽を専攻。卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。1989年より1年間、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にてオペラ演出を研修。帰国後、数々のオペラ演出を手がけ、音楽的な視点と豊かな感性による舞台づくりは広く認められ、また若い声楽家の指導、オペラの普及に尽力している。1995年第23回ジロー・オペラ賞新人賞、2001年大阪舞台芸術奨励賞を受賞。国立音楽大学客員教授、大阪音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。

びわ湖ホール声楽アンサンブル（司会・独唱・合唱）

監修：沼尻竜典（びわ湖ホール芸術監督）

名誉指揮者：田中信昭 桂冠指揮者：本山秀毅 指揮者：大川修司

全国から厳しいオーディションを経て選ばれた声楽家により構成される日本初の公共ホール専属声楽家集団。「声楽アンサンブル」とは、ドイツ語圏の歌劇場においてオペラのソリストを担う劇場専属歌手を意味する。ソリストとしての高水準の実力だけでなく、アンサンブル、合唱の中核となり得る優れた声楽アンサンブルとしても各方面から注目を集めている。びわ湖ホール独自の創造活動の核としてびわ湖ホール開館の年の1998年3月に設立して以来、自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演や定期公演を行うほか、依頼を受けて全国各地でも多数の公演を行っている。また滋賀県内の学校を対象とした公演を行うなど、音楽の普及活動にも積極的に取り組んでいる。過去在籍したメンバーは総勢60名を超え、活動期間を終了した後は「ソロ登録メンバー」として、数多くのコンサートやオペラに出演するなど幅広く活躍している。2013年第26回大津市文化賞、2017年第42回滋賀県文化賞受賞。

ソプラノ	熊谷綾乃	山岸裕梨	山田知加	脇阪法子		
アルト	阿部奈緒	上木愛李	坂田日生	藤居知佳子	森 季子*	山際きみ佳*
テノール	有本康人	島影聖人*	清水徹太郎*	竹内直紀*	谷口耕平	宮城朝陽
バス	市川敏雅	平 欣史	松森 治*	美代開太		

*…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー